

授業科目	英語コミュニケーション（英会話初級）				
担当者	近藤 未奈				
実務経験者の概要					
学科名	理学療法学専攻	学 年	1 年	総単位数	2 単位
	作業療法学専攻	開講時期	後期	選択・必修	必修

■ 内 容

この授業では、語彙、リスニング、会話、文法の各技能の演習をバランス良く行い、医療実務に役立つ総合的な英語力の養成をはかります。基礎的な英語文法の確認をしつつ医療関連の語彙を増やし、ロールプレイ方式での会話練習を行うことにより、実際の現場で英語を使うことのできる能力の習得を目指します。

■ 到達目標

医療専門分野に関係した基礎的な英語表現に慣れ、現場で実際に英語が必要とされた時に適切な対応ができる英語運用能力を身につける。

■ 授業計画

- 第1回 オリエンテーション：受講にあたっての諸注意
イントロダクション：医療現場で英語を使えることの意義 / 医療の英語はどのようなものかを知る
- 第2回 Welcoming a Patient（患者を迎える）
位置を示す表現 / 病院内施設
- 第3回 Taking Vital Signs（バイタルサイン測定）
バイタルを測る機器類 / 看護物品
- 第4回 Pain Assessment（痛みのアセスメント）
痛みを表す表現 / 痛みの問診術
- 第5回 Feeling So Sick!（症状）
症状チェック表 / 様々な症状
- 第6回 Transferring a Patient（体位変換 / 移乗）
対位 / 動きの表現
- 第7回 Medical Department（診療科目）
診療科と専門医 / 検査のための表現
- 第8回 Review & Medical Terminology（前半のまとめ / 医学英語の構造）
- 第9回 Personal Care（日常生活援助）
身だしなみ用具 / 日常生活援助表現
- 第10回 Giving Medication to a Patient（与薬）
薬剤の種類 / 投薬指示関連の表現
- 第11回 Elimination（排泄）
排泄の表現 / 排尿の仕組み
- 第12回 Chronic Diseases（慢性疾患）
患者情報収集 / 慢性病とは？
- 第13回 Critical Care / Operating Room（急性期 / 手術室）
救急室で / 周手術期看護
- 第14回 Pregnancy Check-up（妊婦健診）
妊娠初期・中期 / 陣痛と出産
- 第15回 Review & Medical Reading（後半のまとめ / 医学英文読解）

■ 評価方法

受講態度（予習・授業への取り組みなど：40%）、小テスト（20%）、【科目試験（筆記）】（40%）を総合的に評価します。

講義内テストを含む全ての試験の際に不正な行為があったと認められた者については、規程に定める第16条を適用し、当該学期の全ての試験を無効とし、失格（留年）とする。

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

毎回の授業で学んだ新しい内容はすぐに復習し、覚えるべき内容を確実に定着させていくこと。語句についての学習事項は特に、意識して覚えるようにすることで後の授業内容にも役立ちます。

教科書の予習指示があった場合、指定の箇所の英語を読み、英和辞書などを使いわからない語句の意味を調べ、内容を日本語で理解・説明できるようにしておく。

小テスト対策の勉強は教科書の内容を理解するための予習も兼ねているので、範囲の語句の意味を覚えておくこと。

■ 教科書

書名：Talking with Your Patients in English（アニメで学ぶ看護英語）

著者名：平野美津子, Christine D. Kuramoto, 落合亮太

出版社：成美堂

■ 参考図書

書名：病院スタッフのためのシチュエーション英会話

著者名：服部しのぶ

出版社：メジカルビュー

■ 留意事項

小テストは指定の教科書より出題します。テストについての詳細は初回授業で説明します。

授業中に英和辞典（電子辞書可／高校英語に対応できるレベルのもの）が必要となるので、毎回必ず持参すること。

毎回配布される資料は教科書の一部として扱い、過去に配布されたものも毎回持ってきてください。

成績評価基準の詳細や、その他諸注意については初回授業で伝えるので、必ず初回から出席してください。

■ 講義受講にあたって